

## 単元名 れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかしてかこう

配当時間 15時間

単元の目標 (1) 考えとそれを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解するとともに、比較や分類の仕方、辞書の使い方を理解して使うことができる。  
 (2) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書くことができる。  
 (3) 考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え、それらを明確にして書き表し方を工夫しようとする。

## 標準的な展開例

03010211\_001

【教材名】すがたをかえる大豆/科学読み物での調べ方/食べ物のひみつを教えます (下 P. 41 ~P. 55)

(下 P. 41

【準備等】知多の友、国語辞典、清書用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しをもつ。  <b>★</b>例の書かれ方について気を付けて読み、それを生かして書こう。          ○教科書(P. 41)を読み、学習の見通しをもつ。          ○大豆について知っていることを話し合い、学習計画を立てる。          ○「すがたをかえる大豆」を読み、初発の感想を書く。</p> <p>2 文章の組み立てに注意して、教材文を読む。  <b>★</b>「すがたをかえる大豆」の組み立てを考えよう。          ○段落番号を付け、「はじめ」「中」「終わり」の三つのまとまりに分ける。          ○筆者が「中」で挙げている具体例を表などにして、ノートに整理する。</p> <p>3～5 筆者の説明の工夫を考えながら読む。  <b>★</b>「すがたをかえる大豆」を読み取る。          ○「はじめ」の部分に問いを入れたら、どんな「問い」を入れるか考える。          ○「中」について、段落の順序を表す言葉や中心になる文を確かめながら読む。          ○筆者の工夫をまとめる。            ・文章全体と各段落の組み立て            ・言葉の使い方            ・写真の効果</p> <p>6～7 食べ物について書かれた本を読む。  <b>★</b>食べ物について書かれた本を読む。          ○読みの観点をもとに、食べ物に関する本を読む。          ○自分が読んだ本の内容と説明の工夫について、友達と話し合う。          ○教科書(P. 50)「科学読み物での調べ方」を読み、本を活用する方法を知る。          ○学習の見通しをもつ。</p> <p>8 学習の見通しをもつ。  <b>★</b>食べ物のひみつを分かりやすく説明する文章を書こう。          ○「すがたをかえる大豆」を学習して、食べ物について知りたくなったことを発表し合う。          ○学習の計画を立てる。          ○分かりやすいやさしい説明に必要なことを確認する。</p> <p>9～11 食べ物について本で調べ、調べたことを整理する。  <b>★</b>材料を決め、調べたことをまとめよう。          ○食材を「米」「麦」「牛乳」「とうもろこし」「魚」「いも」の中から選ぶ。          ○おもしろく食べる工夫や食品の例について、学校図書館を利用して調べる。          ○調べた内容を整理する。</p>	<p>・本単元は「知多の友」に掲載されているので十分活用したい。</p> <p>・教科書(P. 41)のリード文を読み、見通しをもたせる。          ・大豆を使った食品や大豆の実物、給食の献立表を見せ、大豆が形を変えているいろいろな食品で使われていることに気付かせる。</p> <p>・「いる」「にる」のように、大豆に手を加えるときの言葉を探し、言葉の意味を国語辞典で確かめさせる。  <b>【評】</b>文章中の言葉を辞書で調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・段落の順序を表す言葉やそれぞれの段落の中心となる大事な文に線を引かせる。          ・どのような順序で事例が挙げられているかを押さえる。  <b>【評】</b>叙述を基に読み取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・「書かれたことについて」「説明の仕方について」という二つの観点を意識させる。          ・聞くだけでなく、簡単な説明をしたり、考えを伝えたりするようにさせる。  <b>【評】</b>説明の工夫を意識して食べ物の本を読む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・知多の友(P. 34)の学習の手順を読み、見通しをもたせる。          ・段落に分けて書くことや、「はじめ」「中」「終わり」の構成、例を挙げること、接続語の使い方を押さえる。</p> <p>・知多の友(P. 35)を活用する。</p> <p>・本の所在を確認しておく。</p> <p>・教科書(P. 52)を参考にさせる。</p>

○文章の組み立てを考える。

12～13 説明する文章を書く。

★組み立てを考えて、説明する文章を書こう。

○組み立てに沿って下書きをする。

○友達と読み合い、気付いたことを助言し合う。

14 友達と読み合い、感想を伝え合う。

★友達と読み合おう。

○「書き方について」「内容について」の観点で感想を伝え合う。

15 学習を振り返る。

★学習のまとめをしよう。

○教科書(P.55)「たいせつ」「ふりかえろう」を読み、学習を振り返る。

【 備 考 】

- ・知多の友(P.36)を活用する。
- ・さらに調べたいことを別の本で調べたり、家の人に聞いたりする。
- ・「すがたをかえる大豆」で学習したことを想起させ、例の挙げ方を工夫させる。
- ・知多の友(P.36～37)を活用する
- ・知多の友(P.38～39)を参考にさせるとよい。

【評】組み立てを考える活動を通して、文書の構成を考える「思考・判断・表現」を評価する。

- ・知多の友(P38～39)を参考にするとよい。

【評】下書きをする活動を通して、書き表し方を工夫する「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・誤字脱字を直したり、より分かりやすい説明にする書き方をアドバイスできるようにさせる

- ・よいところを見付け、感想を伝え合うようにさせる。